

概要

ユーザー視点に立ち、市民サービス向上、業務効率化、職員の働き方改革に取り組む「窓口DX」の推進として“「書かない」「待たない」「行かなくていい」市役所”の実現を目指すもの。

主な取組

※検討中のものを含む

■目指す姿

- ・区役所に行かず、スマホで簡単に手続き
- ・区役所に行く場合でも、窓口で書く、待つ場面を減らす
- ・区役所以外でもサポートする環境を整備
- ・集中処理するバックヤードを整備し、業務を効率化

■今後の取組(R5年度)

- ・手続きオンライン化の拡充(通年)
- ・キオスク端末の区役所設置
(R5.12～小倉南区・八幡西区予定、
R6.2～若松区・八幡東区・戸畑区予定)
- ・キャッシュレス決済の導入拡大(通年)
- ・窓口オンライン予約・発券サービス実証(R5.6～)
- ・バックヤード集約処理体制の検討(R5.8～)
- ・BPR(詳細分析)の実施(R5中)



DX人材 育成プロジェクト

市政変革

概要

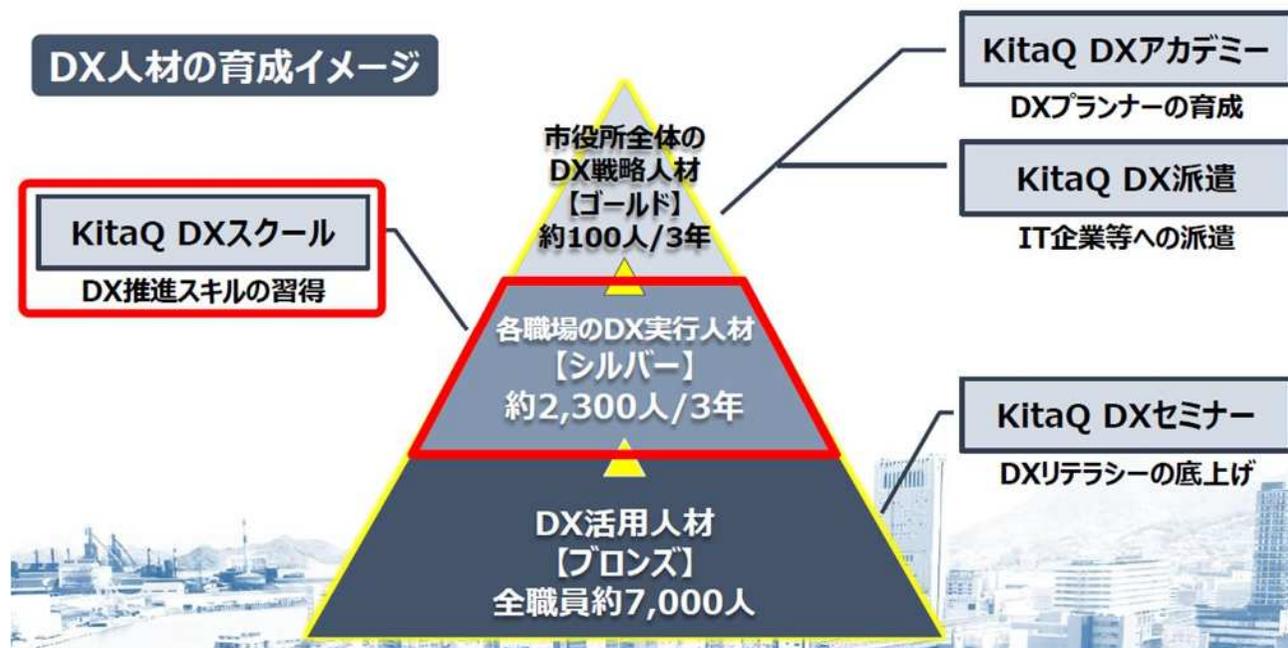
市役所の職員がDXの推進に自律的に取り組み、加速するため、**連携協定締結企業等の協力を得て**、今年度から、令和7年度までの3年間で、政令市最大規模となる2,400人のDX人材(職員)を**体系的に**育成するもの。

主な取組

■令和5年度「DX変革リーダー」(約800人) ※図の赤枠部分

- ・10月19日に開講式実施。北九州市アドバイザーの宮田裕章氏による講演。
- ・以降、約半年間のうちにデジタル市役所推進室が実施するDX人材育成研修へ参加、DX職員提案提出により、シルバーまたはゴールドメンバーに認定。

■令和6年度～
「シルバーメンバー」認定
「ゴールドメンバー」認定
表彰、人事配置に反映



女性のヘルスケア取組強化 **市政変革**

概要

まずは市役所から「女性のヘルスケア」の取組に着手し、さらには市内企業への理解を広げていくことで、女性が元気に活躍し、モチベーション高く働くことができる街づくりを目指す。

主な取組

■「女性の健康検定®」を市幹部職員全員が受検！【自治体初】

- ・11月に「(公社)女性の健康とメノポーズ協会」が実施する『女性の健康検定®』を、市長、副市長、教育長及び局長級の市役所幹部職員全員が受検し、全員合格を目指す。
- ・自治体による団体受検は『全国初』。

■女性のヘルスケアに関する「官民合同研修」を開催！

- ・女性のヘルスケアへの理解を、市内企業全体に広げる第一歩とする。

■市役所職員向けの「女性の健康通信」を発刊！

- ・産業医による女性の健康に関する情報を発信。
 - ・女性だけでなく、すべての職員に対して理解を深めることで、市役所全体で、働きやすい職場環境づくりへの機運を醸成する。
- (7月から開始。2か月に一度刊行予定。)



概要

現在、一部の部署に導入しているローコードツール*について、令和5年11月1日から、北九州市の全職員(約8,000人)が使えるように拡大し、全庁的な活用を開始するもの

※連携協定を締結しているサイボウズ社の kintone を活用

主な取組

■これまでの成果

- ・令和3年10月、ローコードツール試行導入
- ・令和5年9月末現在、職員約900人が利用し、173システムを開発・稼働中
- ・令和4年度に削減できた職員の作業時間:約3.6万時間
- ・導入1年半で削減できたと試算されるシステム費用:約22億円相当
- ・保健所の新型コロナ陽性者管理をはじめ多くの業務でDXを実現

■今後の取組

- ・業務に活用できるシステム開発の拡大
- ・職員への教育・研修の充実、活用事例の共有・普及

■令和7年度末までの目標

- ・年間削減作業時間:10万時間
- ・削減可能と試算されるシステム費用:100億円相当

従来のシステム

プログラミング & 専門知識



ドラッグ & ドロップ



- 1 誰でも
- 2 簡単に
- 3 素早く